

【豊かな心を育む】

- 自分を受け止めてもらえる安心感を持ち、素直に自分を表現する。
- 身近な自然や地域の環境にかかわり、心が揺さぶられる体験をする。
- インクルーシブ教育のもと、多様性を受け入れ、他者も自分も大切にする。



【健やかな体を育む】

- 進んで戸外に出て体を動かして遊ぼうとする。
- 体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、意欲や自信を高め、根気よく取り組む気持ちを育てる。
- 基本的な生活習慣を身に付け、気持ちよく生活する。



地域に開かれた保育所・幼稚園

家庭との連携

【学びの基盤を育む】

- 自分なりのめあてや疑問を持って主体的に遊ぶ。
 - 自分の思いや考えを伝えたり友達と相談したりしながら遊んだり、友達と協同して遊びを創っていく。
- *「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を生かし、小学校との円滑な接続を図る。





(1) インクルーシブ教育の実施

障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが健やかに成長し共に学び合える保育を実践する。

○年少組：特別支援枠5人、通常枠20人、計25人学級

○年中組：特別支援枠5人、通常枠30人、計35人学級

○年長組：特別支援枠5人、通常枠30人、計35人学級

(2) 一時預かり事業（ばなな組）

○家庭で保育ができない場合に一時的に預かる。

（病気、出産、看護、就労、就労訓練、育児不安、リフレッシュ等）

※開所日時：月曜日～金曜日 8時30分～16時30分

(3) 子育て支援センター事業（れもん組）

○親子の遊び場の提供、育児相談、子育てに関する情報提供などの地域の子育て家庭に対する育児支援を実施する。

※対象：就学前の児童とその保護者

※開所日時：月曜日～金曜日 9時30分～15時

※内容：自由遊び、製作活動、絵本の読み聞かせ、園行事への参加 等



(4) 預かり保育事業(幼稚園部に在籍する園児)

○子育て家庭のニーズに対応し、早朝及び降園時間以降に預かり保育を実施する。

※実施時間 平日 7:30～ 8:30

14:30～18:30

夏季・冬季・学年末・学年始休業中 7:30～18:30

(5) 保幼小連携推進事業

○近隣の保育所や幼稚園、就学予定の学校と連携して交流活動や職員研修などを行い、小学校での学習や生活が円滑に行えるようにする。